

令和元年度 相武台地区まちづくりを考える懇談会結果報告

- 1 日 時 令和元年11月1日(金)午後6時59分から午後8時36分まで
- 2 場 所 相武台公民館大会議室
- 3 市側出席者 本村市長、下仲副市長、長谷川南区長、石井企画財政局理事、
荻野まちづくり計画部長、阿部南区副区長
樋口市民局長、高梨市民局次長
- 4 出席委員等 19人
- 5 傍聴者 6人
- 6 懇談会の要旨

テーマ1	活力ある相武台を目指して
概要	<p>相武台地区は高齢化が進み、地区内の小学校の統廃合が検討されているほか、来年の3月には県立高校が廃校となるなど、相武台地区に訪れる人や住む人が更に減ることが予想され、地域住民はまちの将来に危機感を抱いている。</p> <p>これを解決する方策として、相武台前駅周辺の整備が重要であると考え。駅周辺に店舗が建ち並びメインストリートなどを設けることで、買い物をする者の利便性や回遊性が高まり、商店街ににぎわいや活気が創生され、人が訪れるにふさわしいまちの玄関口になることが期待できる。</p> <p>一方、県立相模原青陵高校が今年度限りで閉校となり、まちに活気がなくなると考えられる。今後、高校の跡地を一部でも利用できる場合には、相武台地区の活性化につながるような利用を地域として考えていきたい。</p> <p>加えて、高校跡地と相武台前駅とのアクセスが確保され、多くの人々が駅と同跡地の間を行き交い、商店街等への経済効果も期待できる。</p> <p>「相武台に行ってみたい」、「相武台に住んでみたい」という人が増え、人が少なくなるピンチをチャンスに変える機会として捉え、相武台を活力あるまちとしていくため、相武台前駅周辺の整備及び高校の跡地利用について懇談したい。</p>
地区の取組状況等	<p>駅周辺の整備事業を行った隣接の相模台地区では小田急相模原駅周辺の再開発により、多くの人々が訪れるようになり、商店街ににぎわいが戻ってくるなど、まちの活性化が図られ、新しいまちに生まれ変わっている。</p> <p>高校の跡地利用では、新磯地区内にある旧新磯高校の跡地がロボット産業の活性化を目指す「さがみロボット産業特区」の新たな実験拠点となり、校舎やグラウンドを大学や企業に貸し出し、プレ実験ができる場を提供して、ロボット開発の拠点として生まれ変わっている。</p> <p>また、地域の取組としては、相武台まちづくりセンターと公民館が施設の老朽化に伴い、過去のまちづくり会議・懇談会で何度も議論され、地域住民の要望等によって、旧磯野台小学校の跡地を改修して移転した実績がある。</p> <p>今回の相武台前駅周辺の整備については、まちづくりセンター移転時からあった課題であり、今後、駅周辺の整備及び高校の跡地の利用方法の考察にあたり、まちづくり会議において専門部会を設置することも考えられる。</p>

<p>市の取組 状況等</p>	<p>まず、市全体から見た都市計画上の相武台地区の位置付けについて、概ね20年後の都市の将来像を描き、その実現に向けた都市づくりの基本的な方針を定めた「都市計画マスタープラン」については、令和元年度末に次期計画として策定を予定している。</p> <p>次期都市計画マスタープランの検討に当たっては、これまで、人口、日常生活サービス施設の立地状況、公共交通などの状況をもとに市における拠点性を分析するほか、他市の拠点との連携などの視点も踏まえた上で、都市の構造を整理してきた。</p> <p>相武台前駅周辺については、座間市都市マスタープランにおいて、「市民生活を支えるとともに都市のにぎわいを創出する『地域拠点』」と位置付け、土地利用方針の中で「拠点商業地」として「都市機能や交通結節機能の強化により商業・業務施設の集積を図ることで『地域拠点』にふさわしい快適で利便性の高い魅力ある市街地の形成を目指す」としている。</p> <p>相模原市の次期都市計画マスタープランにおいて、地域拠点等の位置付けはないが、座間市での位置付け、県道町田厚木沿道の強みや近隣の利用者も見込み、駅周辺の地域が一体となったまちづくりの活動と合わせ、商業系土地利用の形成を土地利用の方針としている。</p> <p style="text-align: right;">（都市建設局）</p> <p>相武台地区については高齢化が進んでいることや児童数の減少、また、青陵高校の廃校が予定されている中、訪れる人が減ってしまうということで、地域の方が感じられている課題であると認識している。</p> <p>青陵高校の跡地については、建物も含めて神奈川県管理であり、神奈川県に確認したところ、その後の利用をどうするかについては令和2年度以降に検討に入ると聞いている。時期等は未定だが、一般的に、まずは神奈川県が跡地を使用するか検討し、次に相模原市に照会があり、その後、民間に対して照会をしていくという順位であると同っている。なお、跡地の区域は市街化調整区域であるため、利用にあたっては制約がある場所だが、相模原市としては、県の動向を確認し、地域に情報を提供していきたい。</p> <p>また、地域におけるまちづくりの課題に対しては、各地区のまちづくり会議が中心となり、諸団体等が連携し、解決に向けた自主的な活動に取り組んでいる。</p> <p>地域の活性化に繋がる跡地利用について専門部会を作ることも考えられるということだが、今後、具体的な事業に繋がっていくことがあれば、地域活性化事業交付金の活用を検討していただきたい。また、市の関係部署ともかかわりを持ちながら、働きかけを皆さんと一緒にしていきたいと考えている。</p> <p style="text-align: right;">（南区役所）</p>
---------------------	--

懇談内容	
地区の発言	<p>相模原市はセールスが下手だと思っている。子どもたちは映画を見に行くのは海老名、ボーリングをしに町田、買い物は座間のイオンモールと市外に出ていく。他都市の跡地利用の例として、千代田区で中学校の跡地を利用し、施設をそのまま残して教室を事務所やギャラリーとして貸し出すほか、カフェやお店などが入り、イベントなどを行っている。近隣市でも、大和市のシリウスや町田市の町田シバヒロなど、人が集まるイベントなどを行える場所がある。</p> <p>高校が無くなるのはさみしいが、イベントなどを実施するには広さや設備、周辺環境などが揃っていないとできない。青陵高校をそのまま使えば、リノベーションするだけで利用できる可能性がありチャンスだと思っている。</p> <p>相武台地区地域ケア会議地域づくり部会では、去年から今年にかけて、「相武台やってみようアンケート」を実施した。やってみたいこととして、子ども食堂やスポーツに関すること、教育に関することなどが入っていた。今あるものを使って、リノベーションをして使っていけば、テレビなども取材に来る可能性がある。</p> <p>跡地に関しては、まずは県、何もなければ市に話が来るということは承知している。市に話が来た際に、地元の人がこんなことを考えていたと頭の片隅に置いていただければと考えている。また、地域だけではできないことだと思っているため、地区を活性化できるチャンスをものにできるヒントをいただきたい。</p>
地区の発言	<p>相武台地区は、相武台前駅も行幸道路も座間市であり、市境がのぎりの歯のようになっていることから商業プランを作りにくい地域である。そのような立地の中で、座間市と協力したまちづくりの方法が考えられると思う。また、廃校プロジェクトは文科省でも取り組んでいる。廃校になったことをチャンスに変えるように取り組んでいくため、市の方からもアイデアを持ったプレゼンをしていただきたい。</p>
市の発言	<p>行政主導で行うまちづくりはうまくいかないこともあるため、ぜひ、市民の方から行政に対して、いろんなプレゼンをしていただきたい。相模原市が政令市らしいまちになっていくためには、提案型にしていかなければいけないと思っており、いろんなことにチャレンジして失敗を恐れずにやっていこうと思っている。また、例えばコミュニティバスが欲しいと言われても、行政主導ではどうにもできないことであるため、地域から声を出していったほしい。</p> <p>まちづくりに関しては、近隣市と同じことを行っても人の取り合いになるため、違うものを作っていき、きらりと光るものを作っていくことが必要であると考えている。相模原市にはリニア中央新幹線や相模総合補給廠の返還、小田急多摩線の延伸、旧津久井4町の自然など、可能性がたくさんあるため、各区特色あるものを作っていかなければならない。</p> <p>座間市との協力については、小田急相模原駅周辺の開発で協力しながら進めているため、それを相武台でも出来ればと考えている。</p> <p>高校の跡地については、県から市へどのように移譲がされるのか、また、市が使えない場合は民間のどんな活力があるのかを考え、人に誇れるまちづくりをすることで人が集まってくる。</p> <p>今日いただいた意見を刺激にして頑張っていくため、部会を作って是非考えていただきたい。</p> <p style="text-align: right;">（市長）</p>

	<p>それぞれの市町村の強みを生かして、相武台にはどのような機能があれば一帯として良くなるのかを考える必要がある。どのように実現していくのかという点では、地域の熱意が必要であるが、その熱意を感じた。また、市の体力も必要なことであるが、相模原市の財政力はあまり良くない。ただ、お金が無いからやらないということではなく、知恵を使って良いものを作っていくということを考えていきたい。</p> <p style="text-align: right;">(副市長)</p> <p>他の政令市では、各区が個性を出しながらまちづくりをしている市があり、区役所への権限移譲や、予算的なものを区役所に配分するところが仕組みとして整えられている市もある。</p> <p>区の重要な役割として、市民の皆さんと協働しながら、市民の皆さんが安全安心に暮らしていけるようにしていくことや、市民の身近なところで手続きができるようにしていくという点がある。</p> <p>今後も地域と一緒にまちづくりに取り組んでいきたい。</p> <p style="text-align: right;">(南区役所)</p> <p>専門部会を立上げ積極的に議論していただきたい。その中で、都市計画上の疑問など、聞きたいことが出てくれば詳しい市の職員を派遣することもできる。また、民間のプロフェッショナルの意見が聞きたいというところがあれば、市から依頼をして派遣することもできるため、利用していただきたい。</p> <p style="text-align: right;">(都市建設局)</p>
<p>地区の発言</p>	<p>相武台前駅の商店街を盛り上げていくために、行幸道路を座間市との境界に変えていけるように話をしていけないか。</p>
<p>地区の発言</p>	<p>相模原市には、オリンピックの選手が出るような飛び込みの施設はあるが、多くの申し込みが来る横浜のマラソンのような大きな大会が無い。また、総合体育館は体操の器具が無いことから全国大会などの大きな大会を呼ぶことが出来ない状況にある。機材の入替も含め、施設をうまく活用したスポーツを通じたイベントがもっとあると良いのではないか。</p>
<p>市の発言</p>	<p>市境を変更することは出来るか分からないが、意見があったことは頭に入れておく。</p> <p>スポーツの大会については、来年のオリンピックで自転車競技が行われるため、レガシーとして国際大会を誘致している。国際大会を開催する際には、緑区だけで終わるのではなく南区をスタート地点にできないかという話もしている。</p> <p>総合体育館については指定管理者とよく相談し、連携しながら利用者が使いやすいような対応を考えていく。</p> <p style="text-align: right;">(市長)</p>

市長の感想等	<p>貴重なご意見をいただき、改めて背筋を正し、対話をしながら活動してまいりたい。きらりと光る相武台を作り、次の世代が20年後、30年後に喜んでもらえるようなまちづくりが出来れば良いと思っている。</p> <p>そういった責任を背負いながら、お金がないから出来ないということではなく、持てる可能性と知恵、民間の活力も使い、行政の支援も大事だが、自分たちの街を自分たちで作っていかうという発想を大事にしていきたい。</p> <p>今回の懇談会で刺激ある言葉をいただいたため、いろんな発想を持ち、他の地域に無いものを作れるよう、皆さんと一緒に知恵を出し合い対話をしながら、まちづくりを進めさせていただく。</p> <p style="text-align: right;">(市長)</p>
--------	---